



みんなで探して 発見! 身近な自然

2017年2月15日発行
自然通信員だより第59号
めぐろいきもの气象台
Tel: 03-5722-9355
Fax: 03-3792-2112
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15
目黒区みどり公園みどりの係

みんなの バードウォッチング2016



8月10日ツミ ※タカの仲間です
小鳥を捕食しているところ (自然通信員)



3月15日猛禽類 ※ツミ?
ベランダの物干し竿に止まる
野鳥 (情報提供)



3月15日オナガ ※ゲーイ、ゲーイと鳴きます
我が家の前の電線に (南1丁目 自然通信員)

レンジャク類は
2016年に報告が
ありませんでした。
春先に見られる可
能性があるので、探
てみましょう!



3月6日シジュウカラ ※区の鳥です
ヒマワリの種を食べる (南3丁目 自然通信員)



10月23日ジョウビタキ (左メス、右オス) ※冬鳥です
オスは木の実などを食べていました (緑が丘2丁目 自然通信員)



8月2日カワセミ ※水辺の宝石とも呼ばれます
川縁で休憩中? (目黒川船入場 自然通信員)

みんなの発見 2016



9月21日イチモンジセセリ
夏から秋によく見られます
(林試の森公園 自然通信員)



8月9日オオミスアオ
東京都の区部絶滅危惧Ⅱ類のガです
(駒場4丁目 自然通信員)



7月24日アブラゼミの羽化
少しずつ、少しずつ頑張っ
て出てくる様子が、けなげで
がんばれ〜と応援したくなり
ました。(中目黒公園 自然通
信員)



9月3日トカゲ発見
玄関先に大きくなったトカゲ
が挨拶に来ました
(目黒1丁目 自然通信員)



8月12日ツマグロヒョウモン
近年よく見られるようになりました
(南3丁目 自然通信員)



7月23日ナナフシがポトリ!
大きな木から突然落ちてきま
した(林試の森公園 自然通信員)



10月4日隠れていたヒキガエル
子供の頃から庭で見かけますが、カ
エルはどれくらい長生きするの
でしょうか(碑文谷公園 自然通信員)



7月21日葉の裏の幼虫(左幼虫、右さなぎ)※エビガラスズメ?
ペランダの植木鉢で幼虫を見つけました。この後、合わせて4つ
の蛹の抜け殻を見つけることができました。(自然通信員)



10月4日ルリタテハ
樹液を探しにやってきたようです
(碑文谷公園 自然通信員)

いきもの発見隊 2016

11月12日(土) 土のいきもの発見隊!



大東文化大学環境創造学部環境創造学科の橋本みのり先生の指導、東京工業大学環境・社会理工学院 教授 神田学さんの協力で開催され、37名の方にご参加いただき、たくさんの土のいきものを発見しました!

【発見したいきもの】

- ・ダンゴムシ ・ヒメミミズ類 ・ダニ類 ・ミミズ類 ・ワラジムシ ・クモ類
- ・トビムシ類 ・ムカデ類 ・セミの幼虫 ・カニムシ類 ・ヤスデ類 ・甲虫の幼虫
- ・ヨコエビ類 ・アリ類 ・陸貝の仲間 ……などたくさんのいきものを発見!

歩もう 野の鳥の歌が聞こえるまち 計画紹介その5

「土の中のいきものは、全ての生態系の「かなめ」です……」

と、土のいきもの発見隊で橋本先生の説明がありました。土の大切さは目黒区生物多様性地域戦略(ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画)でも紹介しています。

いきもの間には、食べる、食べられるという関係があります。そして、いきものを分類して、食べるいきものを上に、食べられるいきものを下に並べたとき、ちょうど三角形の形になります。これを「生態系ピラミッド」といいます。

生態系ピラミッドの図

このピラミッドを支えているのが「土(土壌)」の部分です。この土の中のいきものたちは「分解者」と呼ばれ、落ち葉などを分解したり、土の中をたがやしたりしてくれています。こうすることで植物が栄養を吸収し、しっかり根をはって成長できます。植物が育たなければ、植物を食べるいきものが生きていきませんし、そうなればさらに上の食べるいきもの、もっといえば私たち人間も生きてはいけません。

東工大には、この土のいきものがたくさん暮らしていました。人の手があまり入らず、昔からの土が残っているような場所では、縁の下の力持ちである土のいきものたちが、元気に生きているのです。

みどりの活動紹介～楽しい公園施設にお出かけください

真冬の公園の楽しみ方

☎ 電話 03-3485-1754

あと少し待てば春…とはいえまだまだ寒さが続く今日この頃。いきものたちも静かにジッと春の訪れを待っている、と思いきや。よく目をこらせば生き物は見つかりますよ！ 自然観察舎では昨年に引き続き、3月末まで特別プログラム「とりツアー」を実施中。スタッフと一緒に公園内を回れば、運が良ければ10種類以上の野鳥が観察できます。また、どんな場所にどんな昆虫が冬越ししているかなど、色々な情報も教えちゃいます！ 冬の駒場野公園もおススメです！（駒場野公園自然観察舎より）



テントウムシ

冬の公園に漂う、早春の香り

☎ 電話/FAX:03-5721-0871



ロウバイ

暖かなスタートとなりました、2017年。中目黒公園では、香りのよいロウバイやスイセンなどの早春の花々が咲き始めました。スイセンの学名は“Narcissus（ナルシサス）”で、ギリシャ神話に出てくる美少年の名前にちなんでつけられたといわれ、“ナルシスト”の語源にもなっているそうです。一見すると寂しいような冬の公園でも、春の気配を感じることができますよ。（中目黒公園花とみどりの学習館より）



スイセン

春に向けて調査するいきものたち

お知らせいただく項目

- タンポポの開花
- ウグイスの初音

- 春先のチョウ
- ツバメの渡来

- ツクシ
- サクラの開花 ……など

- いつ(年月日)
- どこで
- なにを見た
- ようす・メッセージ

いきもの調査は、無理をして探しに出かけなくても、日ごろの生活の中で出会ったものをお知らせいただいております。

いきもの	観察日	観測地・観察のようす
キジバト	7月7日	鷹番小ピオトープ池周辺。巣立ち後すぐの幼鳥（中央町1丁目 自然通信員）
シオヤアブ	7月10日	今朝8時半ごろ、ベランダの手摺に蜂のような色のアブがいた（目黒本町2丁目）
ウスバキトンボ	8月17日	群れて周辺の草地上で餌をとっていました（中町1丁目 自然通信員）
オナガ	8月3日	参堂の大木の上を鳴きながら飛んでいた（碑文谷1丁目 自然通信員）
エソビタキ	10月4日	ひょうたん池脇のこすえにて（大岡山2丁目 自然通信員）
アトリ	12月3日	10:30頃にひょうたん池脇樹木低いところに止まる（大岡山2丁目 自然通信員）
ジョウビタキ	1月8日	朝、11中グランド植栽で採餌（大岡山2丁目 自然通信員）

- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。また、『めぐろのいきもの80選』を目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店などで販売中（1冊400円）です
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了承ください
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール（sizen@city.meguro.tokyo.jp）でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせすることもできます。通信員だよりの郵送が不要の方は、上記のメールでご連絡ください